

令和7年度 地域連携推進会議

横浜市総合リハビリテーションセンター 障害者支援施設の概要について

横浜市総合リハビリテーションセンター
障害者支援施設
施設長・サービス管理責任者 笹島 朋浩

横浜市総合リハビリテーションセンター

設置:横浜市 指定管理:社会福祉法人横浜市リハビリテーション事業団



昭和62年10月

横浜市 のリハビリテーションの
中核施設として開設

相談部門

診療所

福祉施設

在宅リハ
部門

スポーツ文化
センター

外来

入院

自立
訓練

就
労
移
行

その人ら
しい生活
の継続

障害者支援施設の役割

地域でその人らしい生活が続けることができるよう、

生活支援員が行う社会生活力＊プログラムを中心に、

医療・栄養士・就労支援など、リハセンターの

各専門スタッフとの連携のもと、

一人ひとりのニーズに応じて、きめ細かく

個別支援計画をたて、プログラムを実施します。

リハビリテーションにおける障害者支援施設のポジション

障害者支援施設が果たす役割

障害の発症から地域生活

障害による生活の再構築と再獲得



①医療と地域をつなぐ

病院退院後の生活の再獲得

②ライフステージをつなぐ（生活課題・発達課題への対応）

学校卒業後の生活の構築・一人ぐらしの実現・働く準備 等

③より良い地域生活の再構築（地域リハビリテーションにおけるハブ機能）

地域生活からの新たな可能性への挑戦

障害者支援施設の事業内容

自立訓練（機能訓練）

36名

施設入所支援

30名

対象者

主に身体障害者手帳をお持ちの方

事業内容

「社会生活力プログラム」の実施（入所・通所）

高次脳機能障害の方向けのグループプログラム（通所）

利用期間（有期限＊法令で18か月）

入所の平均期間は、6～8か月

通所による利用も可能

グループは3か月程度から



障害者支援施設の利用料等の自己負担について

1) 食費等実費負担

朝 食	400円/食
昼 食	650円/食
夕 食	560円/食
光熱水費等	140円/日

一日あたり1,750円



基準費用額 **54,250円/月**
所得等によって軽減あり

2) 訓練に関わる自己負担

階 層	上限月額（国基準）
生活保護世帯・市民税非課税世帯	0円
市民税課税世帯で所得割16万円未満の世帯	(通所の場合) 9,300円
市民税課税世帯で所得割16万円以上の世帯	37,200円

3) 医療費自己負担分

診察費、S T、心理訓練、薬剤費、など

障害者支援施設の利用者像

疾患

脳血管疾患

障害

片麻痺 ・ 高次脳機能障害
身障手帳1～2級の方が多い

年齢・性別

40～50歳代 男性が多い

利用期間

入所期間 6～8ヶ月

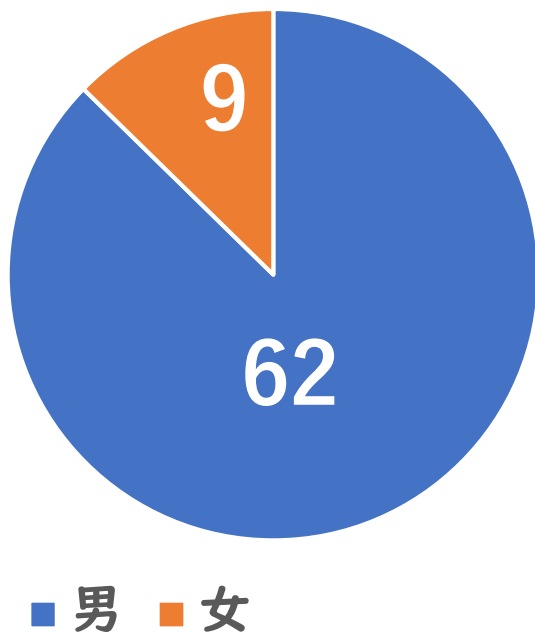
目標

- ・自宅での家族との生活の再開
- ・新規拠点設定による単身生活
- ・復職（新規就労）

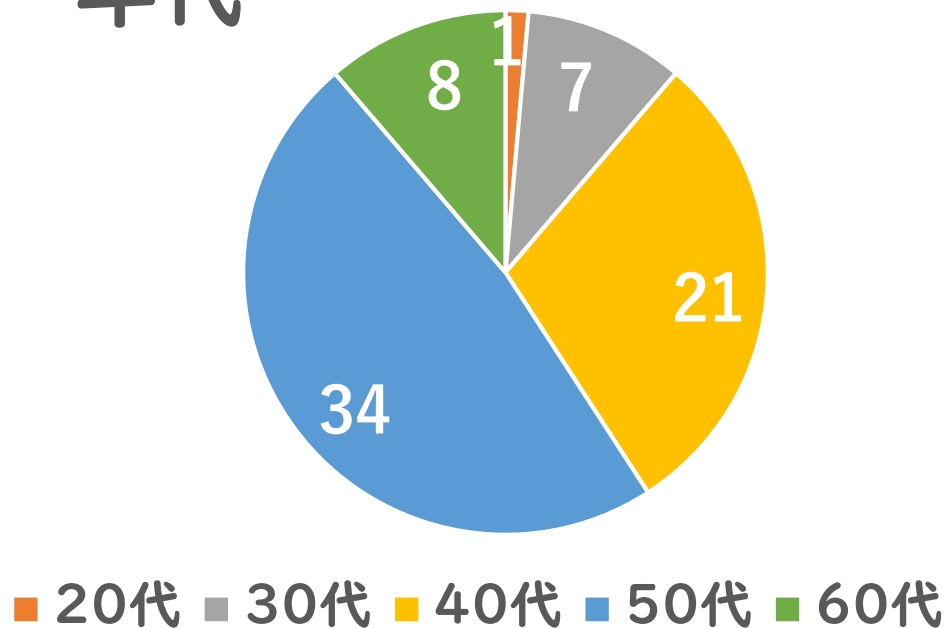
当センターの就労支援課と連携し、
職業的なご相談や支援を行っています

R6年度 利用者の概要(Ⅰ) 計71名(内:入所者40名/通所者31名) *R6年度内に利用・契約した方

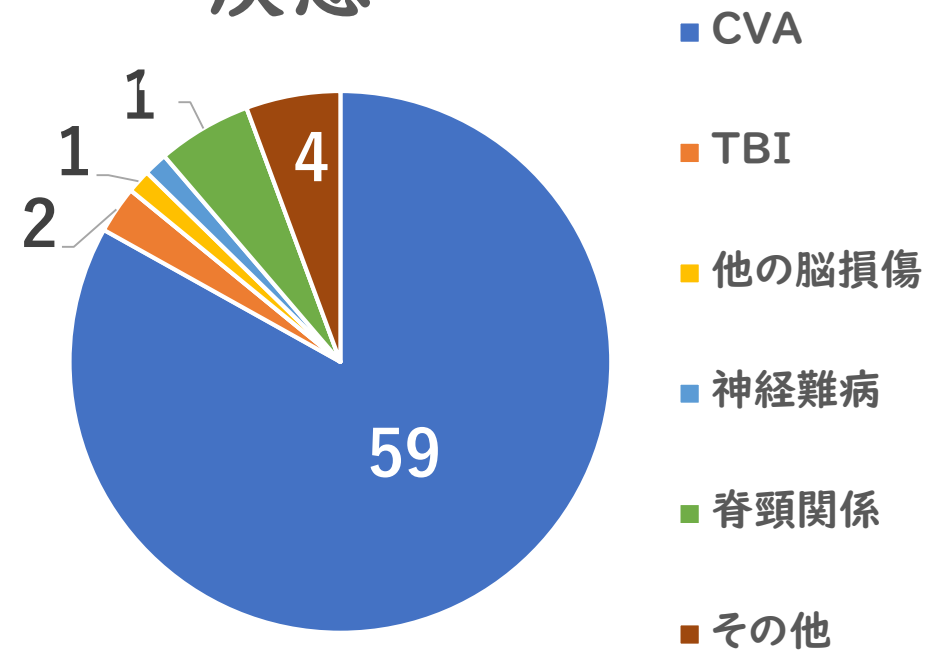
性別



年代



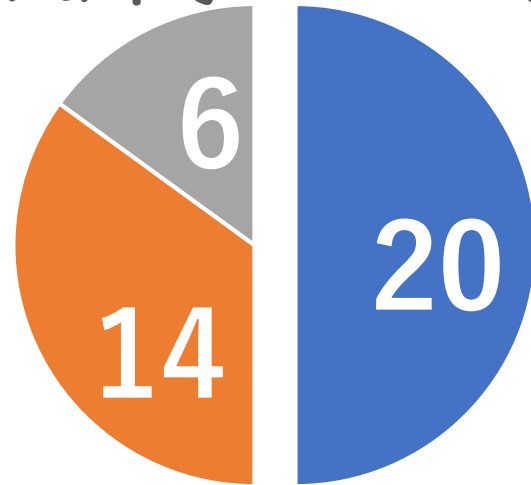
疾患



4～50代の脳血管疾患の男性 = 介護保険2号被保険者の方

利用者の概要(2) 入所時ニーズ 入所者40名

入所時のニーズ① 拠点

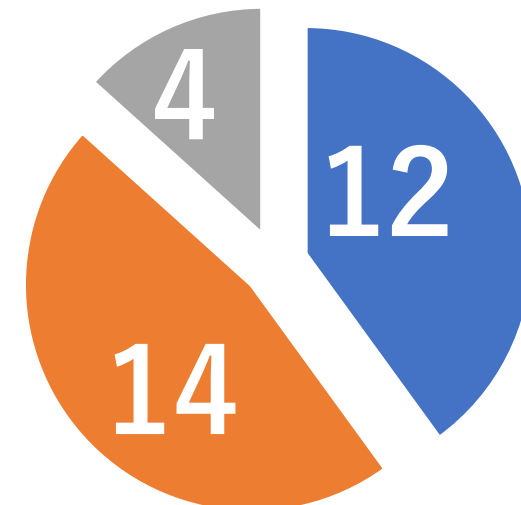


- 単身生活の再開
- 安定した自宅生活
- 他

単身生活の再開
→ 50%

復職・新規就労や何らかの活動
→ 90%

入所時のニーズ② 活動

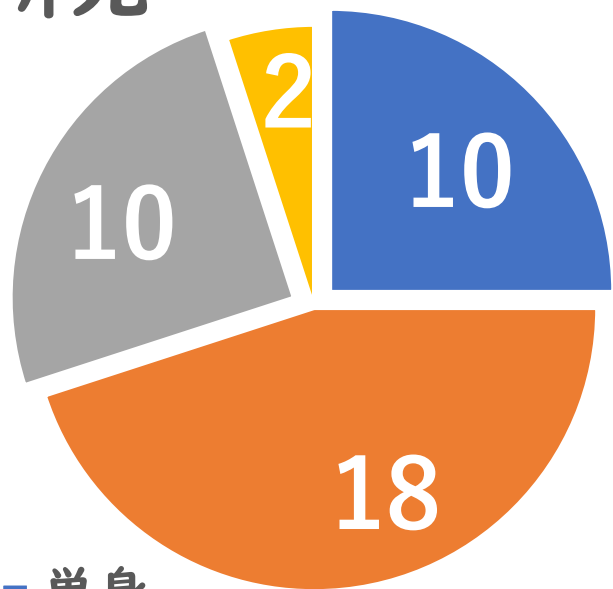


- 復職
- 活動
- 他

安定した生活は、
ADLやIADLだけではなく、
活動と参加が大切

利用者の概要(3) 退所後 入所者40名

退所先



- 単身
- 家族同居
- 施設(サ高住含む)
- その他

日中活動先



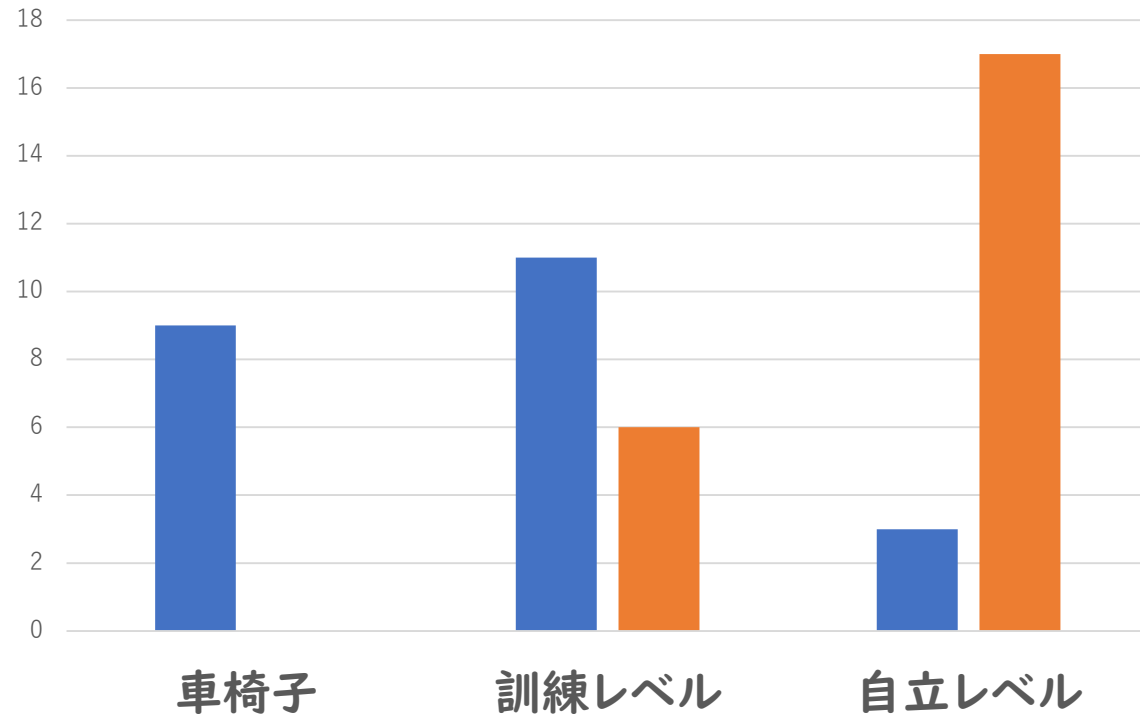
- 介護保険
- 復職・就職
- 障害サービス
- 中活
- 就労移行支援
- 就労B
- ラポール
- その他

地域生活の再開
→ 7割
就職・就労系サービス
→ 3割

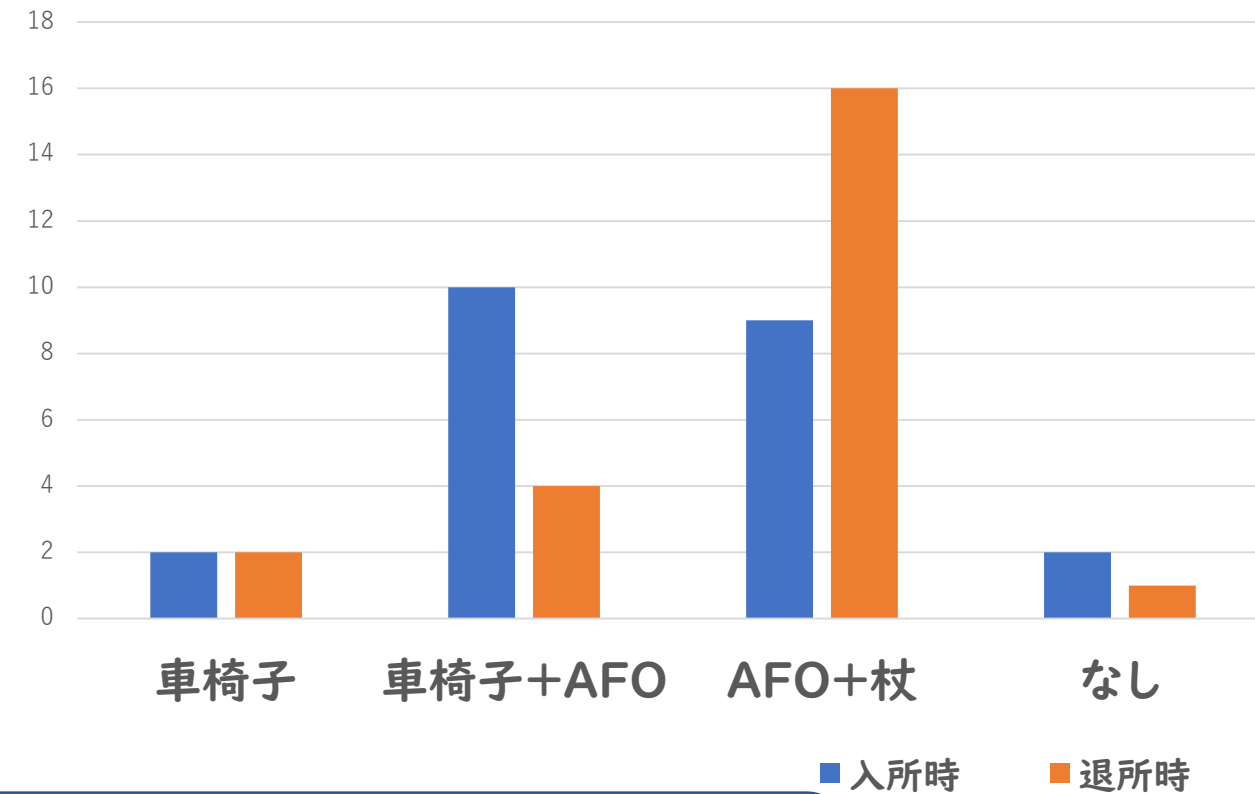
次につながる支援

R4年度の退所時統計より①

屋内移動能力



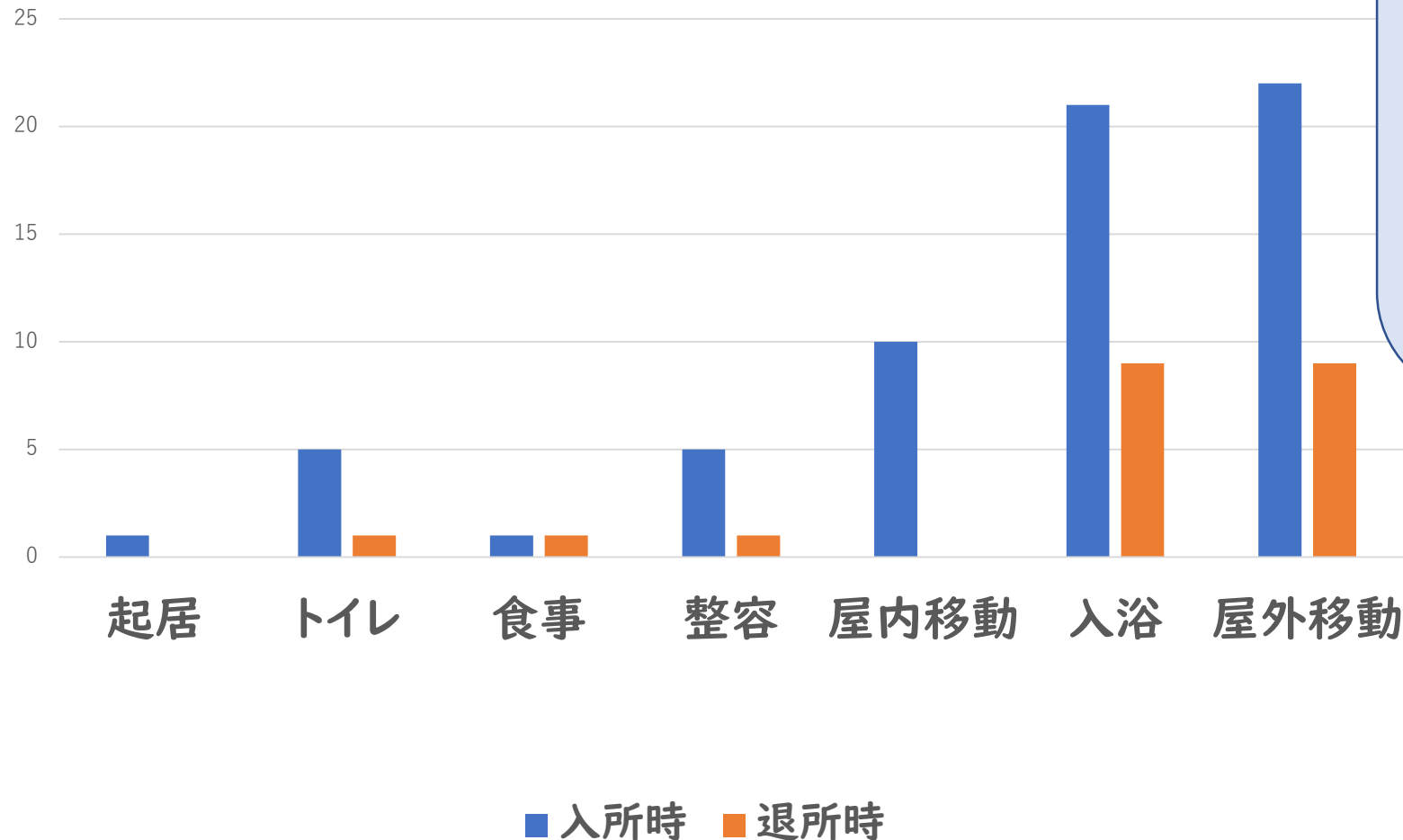
補装具形態



入所時は、屋内移動に車椅子を使用した方が半数
→多くの方が自立へ。補装具も車椅子を併用する方が減少されています。

R4年度の退所時統計より②

介助内容



入所時、介助が必要な箇所
入浴・屋外移動、加えて
施設内移動も。

退所時、屋内移動は全員自
立
入浴・屋外移動も半数以上の
方が介助不要となっています

自分でできる
ことが増えました！

R6退所者アンケートより（取得できた計18名…）

利用して良かったこと



中途障害者の発症から在宅復帰までの流れ

病院



支持的・保護的に
ならざるを得ない

(最長で180日)

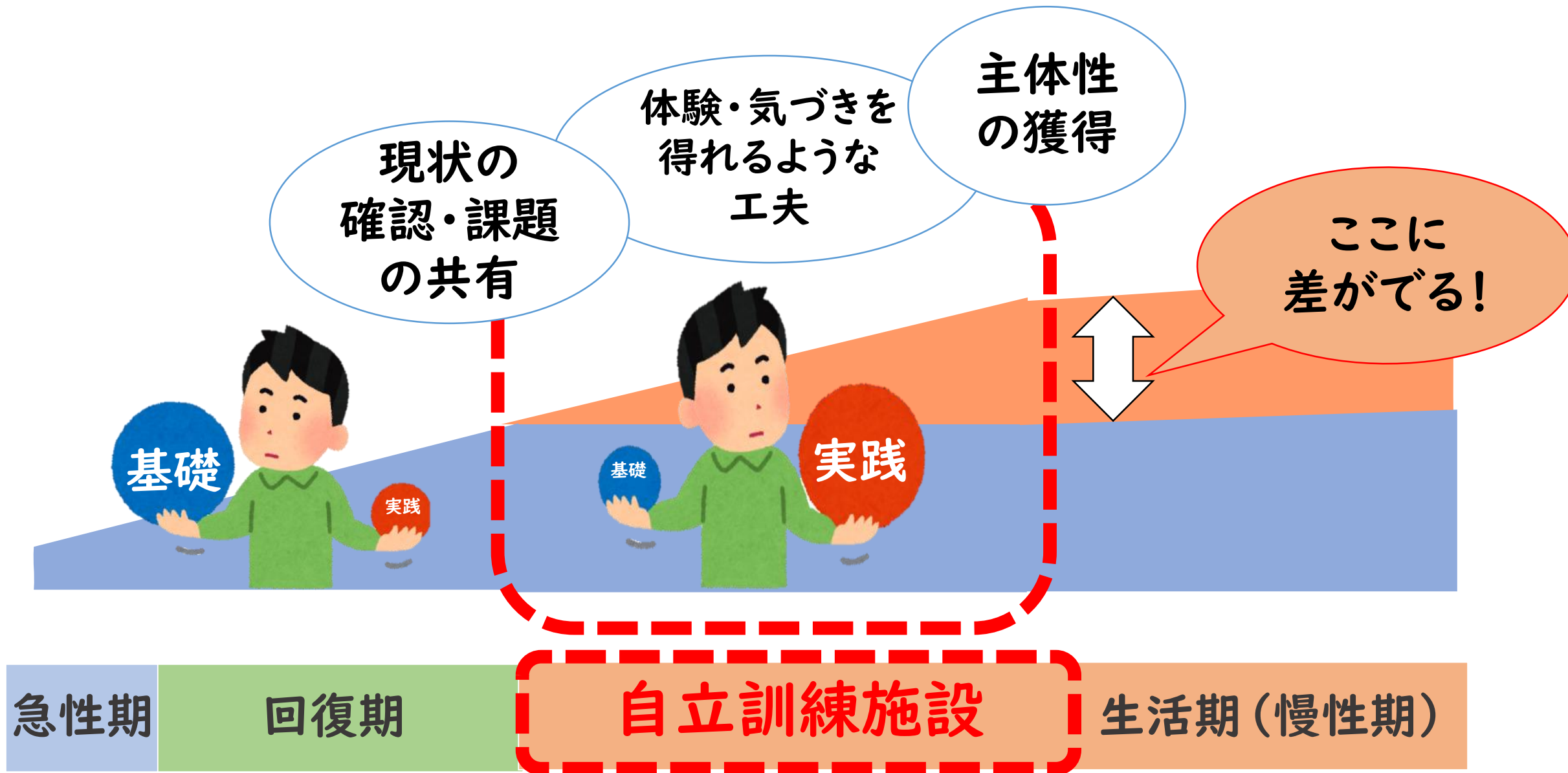
- ・集中的な医学リハ
- ・退院に向けた調整

地域

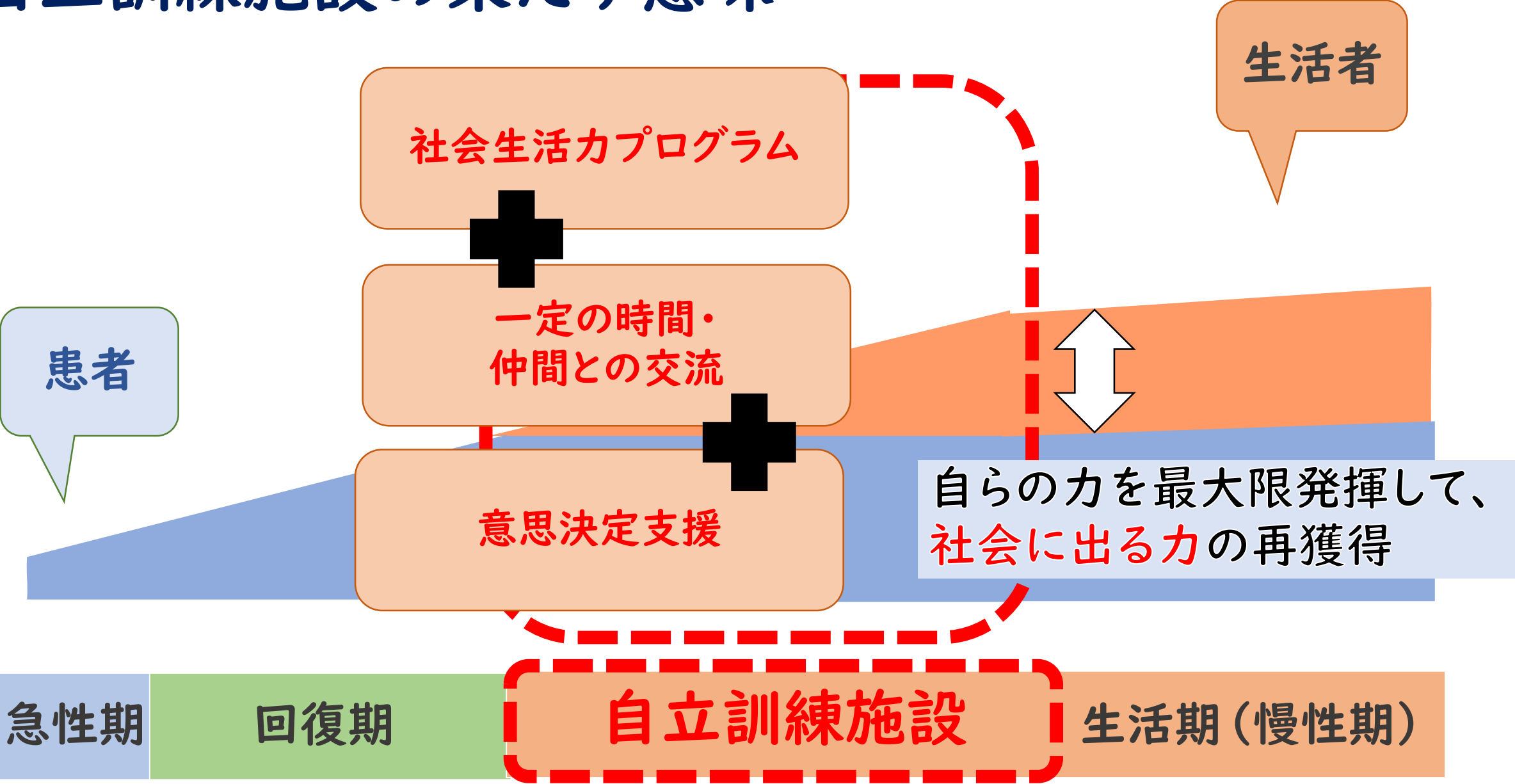


- ・障害の生活への
影響？
- ・これからの生活？

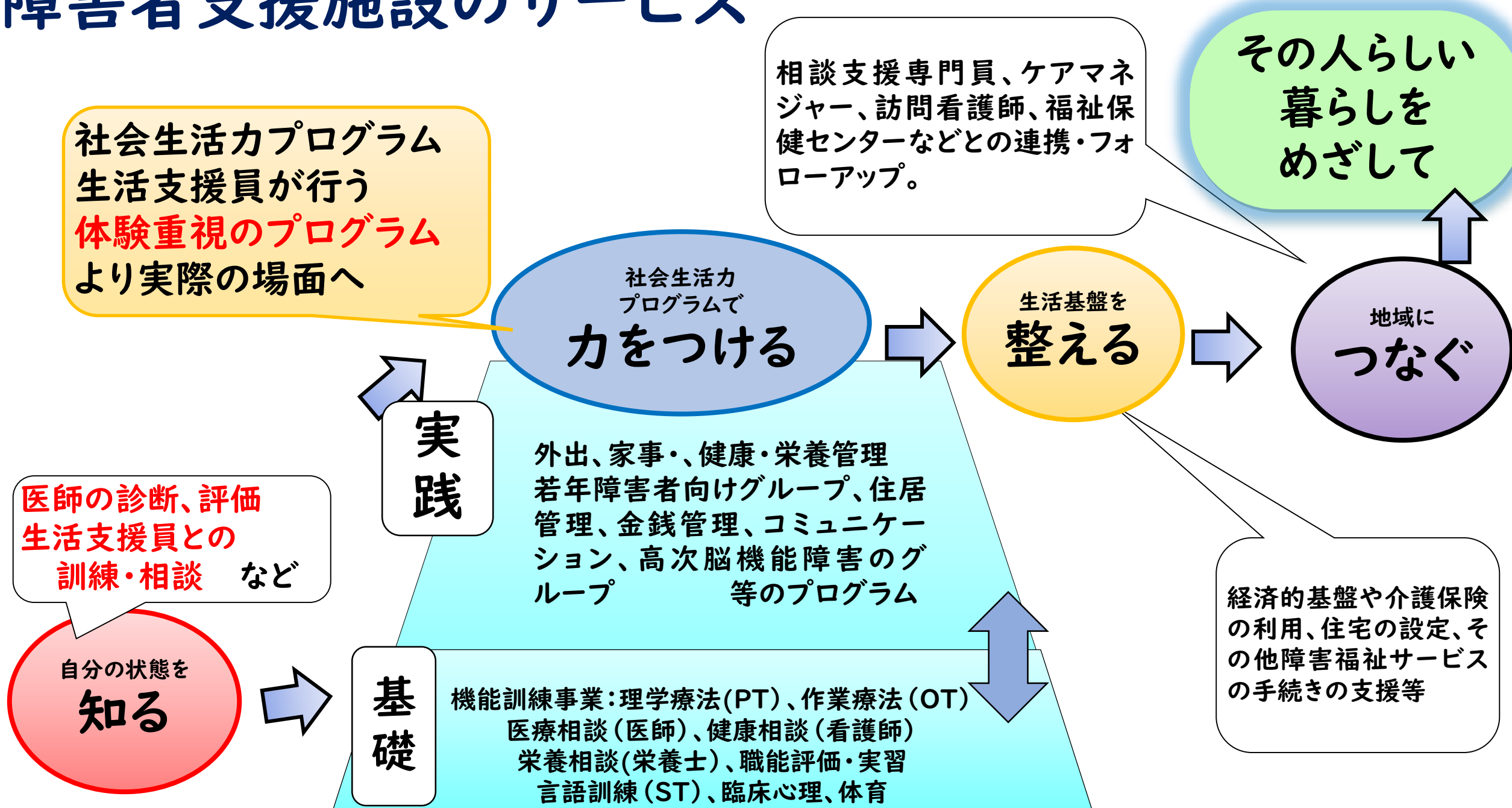
社会リハビリテーションの効果



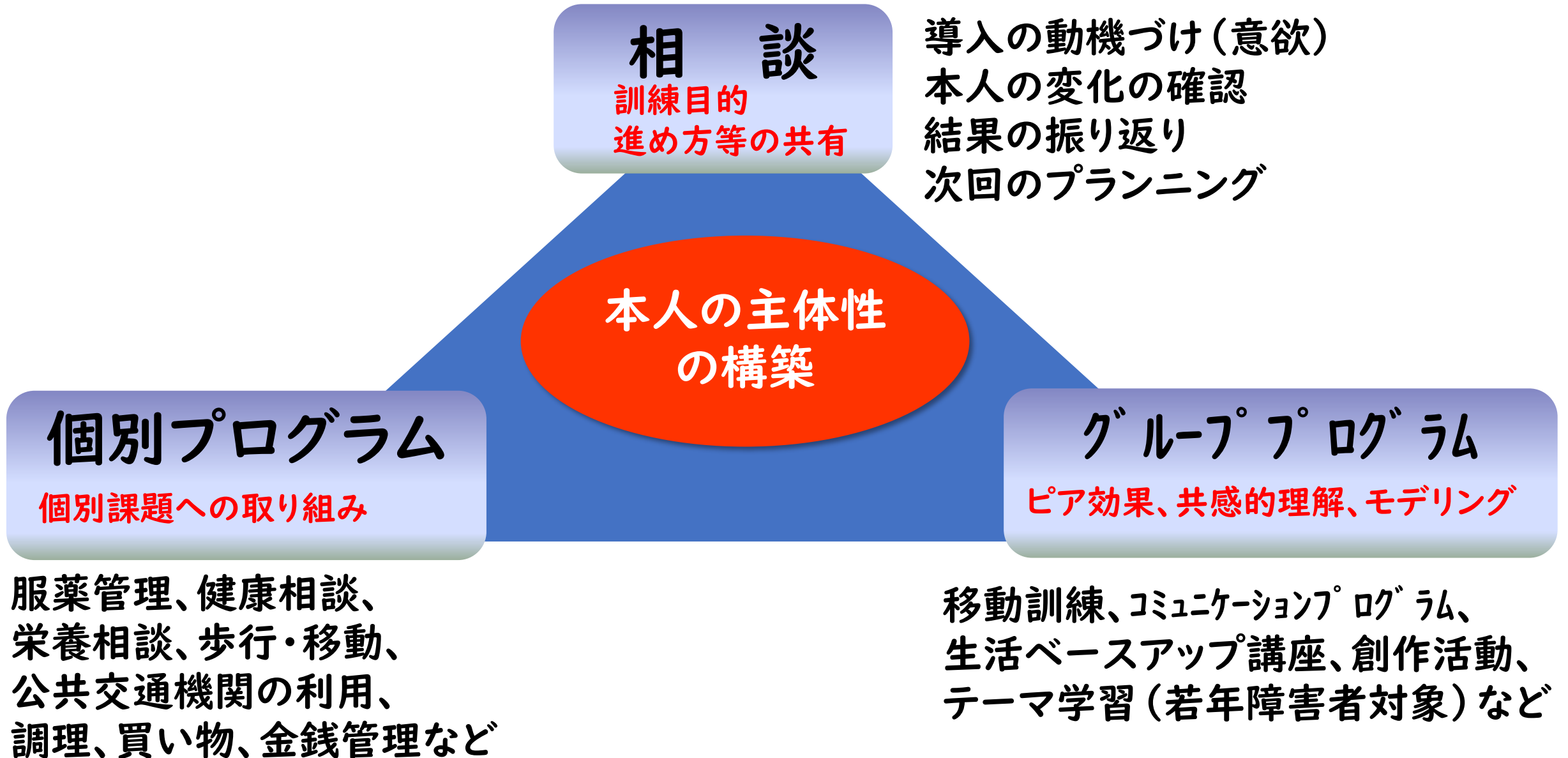
自立訓練施設の果たす意味



障害者支援施設のサービス



プログラムの三本柱





- ・ 自宅内どうする？
- ・ 会社行くには？
- ・ 課題は？
- ・ 雨の日は？

相 談



- ・ 自主トレ頑張って体力つける！
- ・ 電動車いすも乗れるか試したい

- ・ 体力つけば長く歩ける！
- ・ 歩けないと外出できない
- ・ 雨の日大変...

個別プログラム



グループプログラム



- ・ みんな自主トレ頑張ってる
- ・ 電動車いす使うと楽なんだ
- ・ 傘さして歩くのは危なそう

自立訓練は“社会生活力の回復” → 社会リハビリテーション

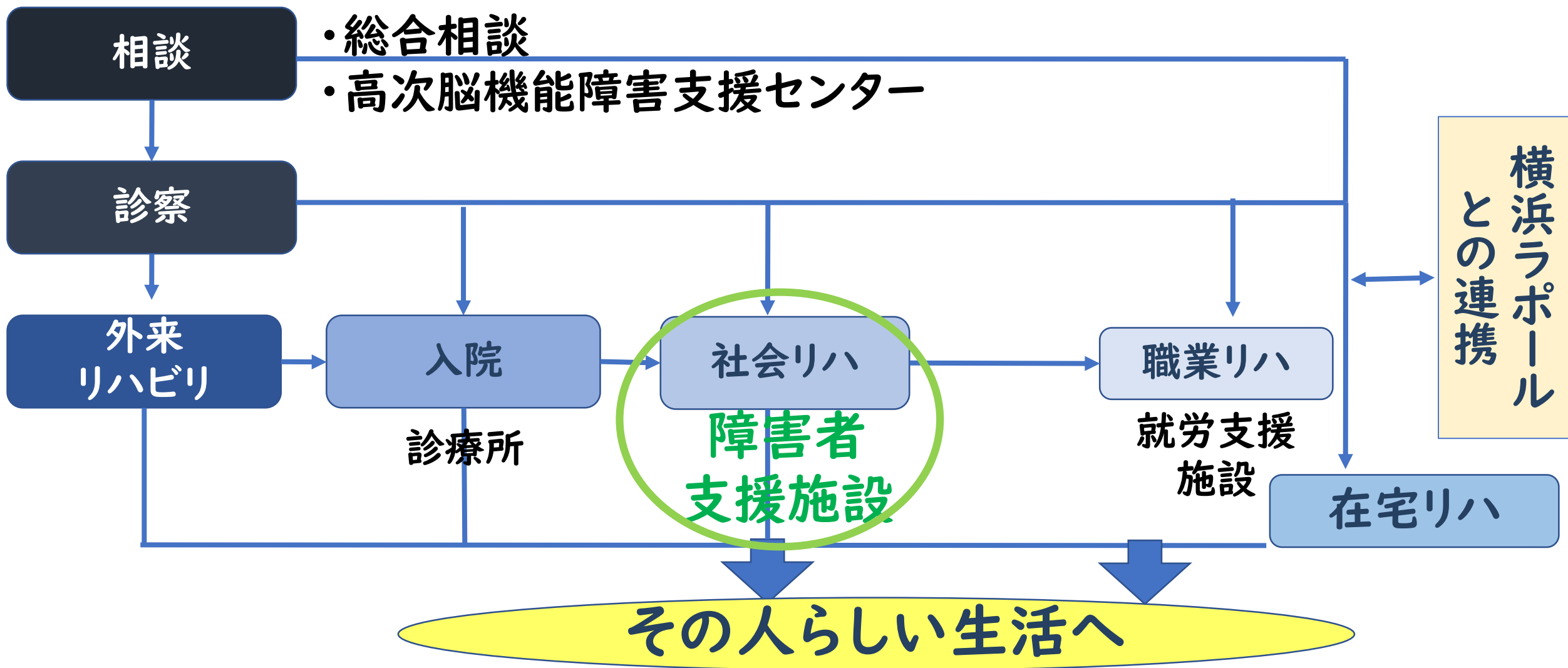


さまざまな体験 と 振り返り それに基づいた選択



リハセンター機能をご活用ください。 ご相談をお待ちしています。

代表電話: 473-0666



実施体制

(7) 職員配置の状況と勤務体制

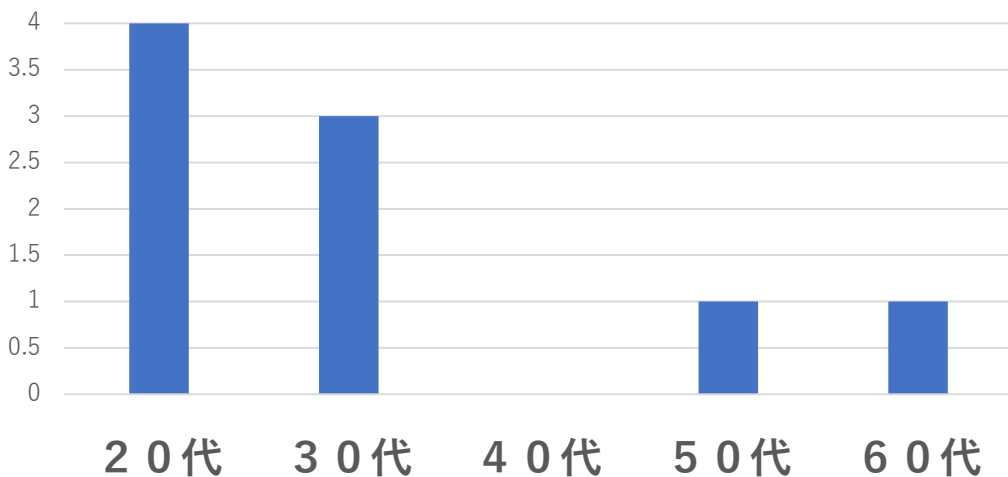
当施設では、利用者の方にサービスを提供するため、以下の職員を配置しています。

施設長	1名常勤	平日・日勤 8:45~17:15
サービス 管理責任者	1名常勤	平日・日勤 8:45~17:15
生活支援員	9名常勤	(1) 平日 ・日勤 8:45~17:15 (3~5名) ・夜勤 16:00~ 9:00 (1名) (2) 土、日曜、祝日 ・日勤 8:45~17:15 (1名) ・夜勤 16:00~ 9:00 (1名) ・必要に応じて、遅出12:30~21:00 (1名)を設定する場合があります。
医師	1名常勤	平日・日勤 8:45~17:15
看護師	1名常勤	
理学療法士	4名非常勤	
作業療法士	4名非常勤	
栄養士	1名常勤	

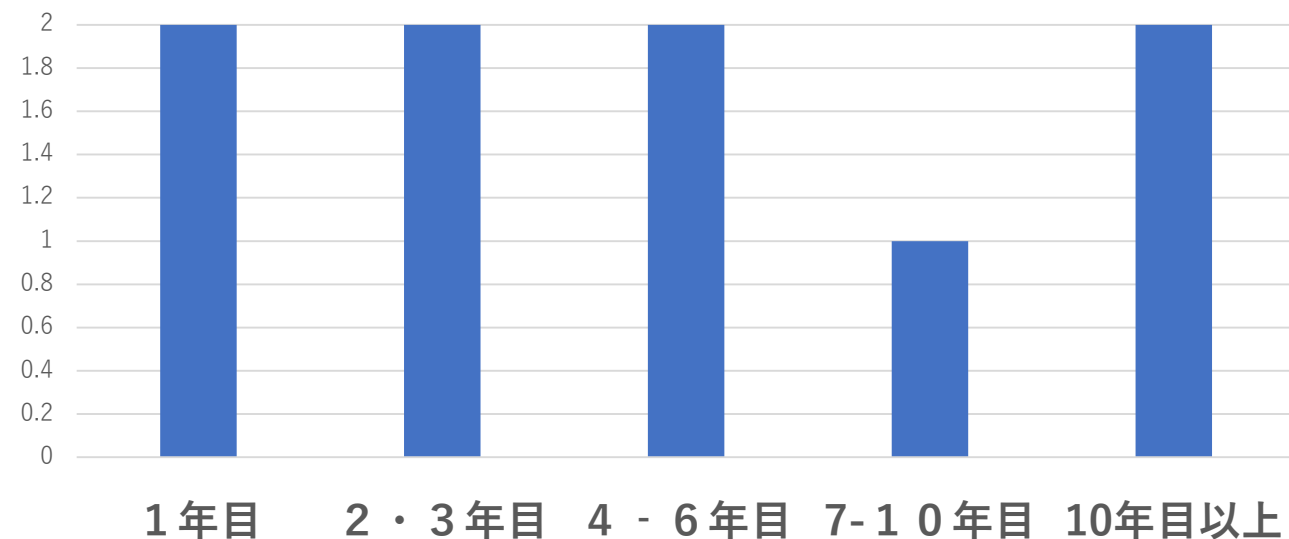
* 当施設 重要事項説明書より

職員概要（施設長を除く）

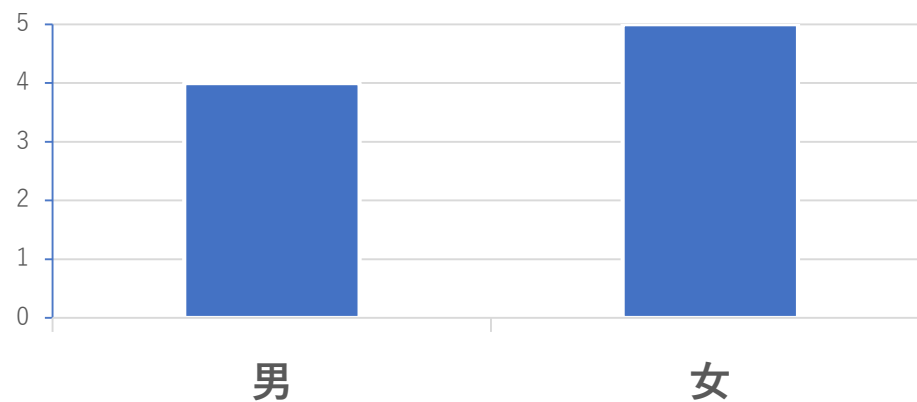
年代



経験年数

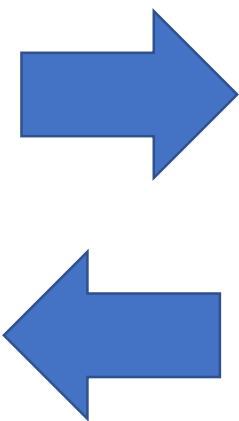


男女比



当障害者支援施設人材育成について

研修
当施設チェックリスト
＋
課内研修
＋
成人福祉職研修
＋
事業団内の外部講師を
呼んだ研修
＋
事業団内の研究発表会
＋
外部研修・学会



実践
OJT
グループプログラム
個別プログラム
個別支援

SV
特に1～3年目
4年目以降課題

専門職としての成長

入場無料

横浜市総合リハビリテーションセンターおよび障害者スポーツ文化センター横浜ラポールの各施設を地域の皆さまに公開します（一部、非公開のエリアもございます）。自由に見学ができ、医療やリハビリ、福祉に関わる相談や体験ができる特別な一日です。

オープンディ 2025

雨天開催

会場
●横浜市総合リハビリテーションセンター
新横浜駅から徒歩約10分
●障害者スポーツ文化センター 横浜ラポール
新横浜駅から徒歩約10分

日時
9月28日（日）
10:00-15:00

ラポールの祭典 開催中!



特別企画

おもちゃで遊ぼう! 動いて遊ぼう!



【リハセンター1階ホール】
親子で楽しめる「おもちゃコーナー」と「動いて遊ぶコーナー」を開設しています。療育部門のスタッフが遊びをサポートしますので、安心してご参加いただけます。*遊びをおしまいにする工夫*などもご紹介します!



ボーネンドがやってくるよ!
サイバーボールで遊ぼう!

特別協力! (株) ボーネンド

スタンプラリー



医療やリハビリ、福祉などの専門職に会いに行こう!

【受付】リハセンター1階ロビー

この他にも専門職と話しながらか体験できるたくさんのイベントをご用意しています。詳しくは裏面をご覧ください。

最新情報
会場アクセス

最新情報や会場へのアクセス方法は
オープンディのwebサイトをご覧ください。
<http://www.yokohama-rf.jp/od2025>
〒222-0035 横浜市港北区鳥山町 1770
新横浜駅から徒歩約10分
リフト付き送迎バス（無料）約5分



お問合せ

社会福祉法人 横浜市リハビリテーション事業団
オープンディ運営事務局
045-473-0666（代表）
yrf-info@yokohama-rf.jp



新横浜新聞



ホーム

ニュース

街で起こったニュースや出...

防犯・防災

防犯や防災に関する情報を...

再開発・新建設

再開発や新建設などの情報...

イ

新横浜

飲食店

新規オープンやリニューアル...

暮らし

新横浜周辺で暮らすうえで...

買物情報

商店街やスーパーなど日常...

賑わい予報

新横浜周辺での大型イ...

新横浜新聞 > 街の話題 > 新横浜1~3丁目 > 横浜ラポール&リハセンターが「オープンディ」、9月28日に



横浜ラポール&リハセンターが「オープンディ」、9月28日に恒例の大型“祭典”も

公開日：2025年09月24日

新横浜1~3丁目、公共施設、子育て・教育、鳥山町、小机町、講演会・芸術関連など、スポーツ関連、賑わい予報、港北区 新横浜駅・横浜市総合リハビリテーションセンター・横浜市リハビリテーション事業団・横浜ラポール・ラポールの日・2025年秋祭り・障害者スポーツ文化センター・オープンディ・ラポールの祭典・秋祭り

日産スタジアム近くの2施設が連携し秋の大型イベントが企画されました。

隣接して建つ障害者スポーツ文化センター「横浜ラポール」と、横浜市総合リハビリテーションセンター（いずれも鳥山町）は、今月（2025年）9月28日（日）に施設公開イベント「オープンディ」を開くとともに、横浜ラポールでは年に一度の体験イベント「ラポールの祭典」もあわせて行います。

もともと秋は横浜ラポールの秋イベントが行われ、隣接するリハビリテーションセンターでも福祉展示会「ヨッテク（ヨコハマ・ヒューマン&テクノランド）」などを同時に開いていました。

オープンデイ リハセンターー1,386名



ソーシャルワーカーってどんなひと？
(わたしのねがい、あなたのねがい)



ソーシャルワーカーってどんなひと？
(わたしのねがい、あなたのねがい)



子どもと関わる心理士って何するの？



療育室をのぞいてみよう



片手でも仕事はできるのかな？



おもちゃで遊ぼう！



こどもと関わる言語聴覚士のお仕事見学♪



片麻痺の生活を便利にする道具を知ろう！



動いて遊ぼう！



看護も検査も一緒にリハビリを支えています！



測定機器体験



こんなことが知りたかった



理学療法のお部屋を見に行こう！



おもちゃをつくろう

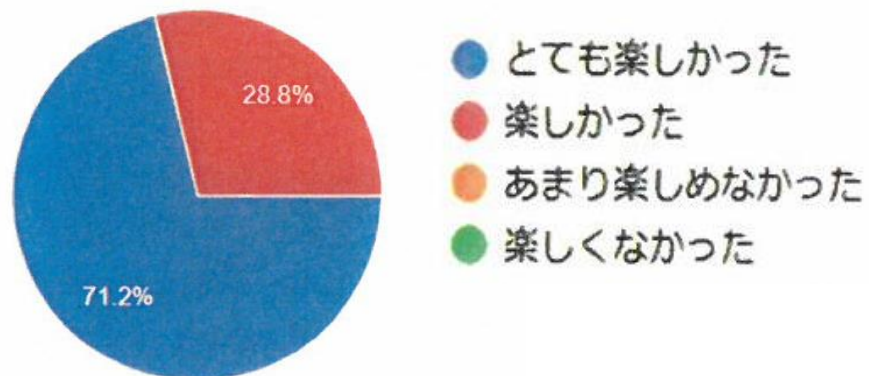


生活に役立つ福祉用具に触れてみよう

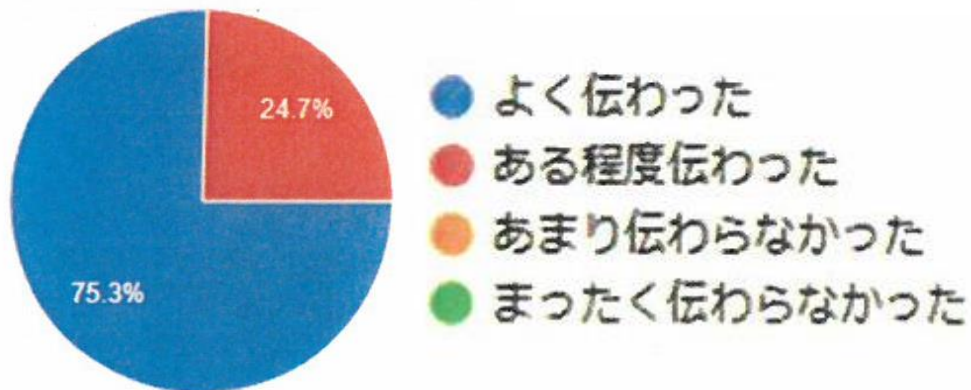


景品受付

オープンデイは楽しめましたか？

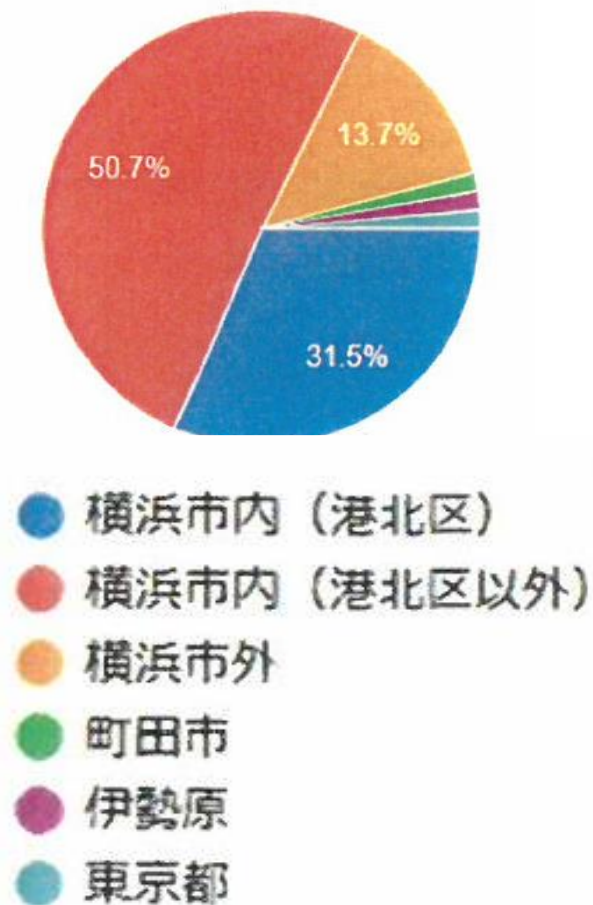


オープンデイのコンセプトは
伝わりましたか？
(コンセプト)
専門職に会いに行こう！



アンケート結果

お住いのエリアは？



支援機関の一つとして
ご検討いただけますと幸いです。

